

ジャンボタニシ被害対策集中月間

～田植え前後の対策の実施を～

ジャンボタニシによる稲への被害は田植え直後に多発することから、

4～7月を対策の集中月間として、

地域一体となって被害防止に努めましょう。

また、取水によって拡散する前に越冬場所を見つけて効率的に駆除しましょう。

- ①前年度被害が大きかったほ場周辺、②土が柔らかく貝が潜りやすい場所、③道路や橋の下にある水路に泥がたまっている場所には、貝が越冬しやすいため特に注意しましょう。



水田ほ場内

●ほ場外からの侵入防止をしましょう

水路との出入り口に網を設置し、侵入を防ぎましょう
農機を介した未発生ほ場への貝の持ち込みにも注意しましょう

●浅水管理で貝の活動を抑えましょう

水深が浅い(4cm以下、理想は1cm以下)と
貝の動きが鈍るため食害を受けにくいとされています

一言アドバイス

雑草の発生を防止するため、きめ細やかな水管理が重要です



田植え後に食害にあったほ場

●農薬散布で被害を軽減しましょう

使用基準・登録内容に沿って適切に使用しましょう

一言アドバイス

殺貝や食害防止を目的とした農薬がありますので、目的に合ったものを選択しましょう

●石灰窒素の散布は慎重に行いましょう

田植えの7日以上前に、水温が15℃以上あり、湛水ができるほ場において殺貝効果が期待できます
魚毒性が高いことを認識して用法・用量を守り使用しましょう

【注意】石灰窒素の使用回数は1回のため、収穫後に散布した場合は田植え前には散布できません

一言アドバイス

窒素を多く含むため、基肥窒素量に配慮するとともに、水稻の生育に合わせた肥培管理に努めましょう

水路

●卵塊除去と成貝捕殺に取り組みましょう

落水時に効率的に駆除しましょう

一言アドバイス

産卵から1週間経った卵は水中に落としても孵化してしまうので、
卵塊除去は毎週取り組むか、又は潰すようにしましょう

ジャンボタニシの卵塊



産卵直後
(赤色)

ふ化直前
(白っぽい色)

注意

貝や卵には素手で触らずに
手袋をしましょう